

受入先	南九州市茶業振興会
役職	
隊員氏名	窪 拓摩
着任日	令和3年2月1日

活動月	令和3年5月（着任0年4カ月目）
主な活動	1 本年初開催 オンライン新茶イベント開催！ 2 新茶贈呈式 各地で開催 過去最速の新茶シーズンに湧く！ 3 外部企業との連携、ブランディングづくりの商談

1. 本年初開催 オンライン新茶イベント開催！

企画/開催告知/商品発送などは4月の報告書の通りです。八十八夜にあたる5月1日、本年オンラインイベントとして初開催しました、「知覧茶新茶お披露目会」を無事盛況の元終わることができました。南九州市での現地開催がなかなか難しいということで、全国のお茶好きを中心とする一般消費者、お茶関係者にご参加いただき、配信後の動画再生含めGW明けまでで1,500回を超えるご視聴をいただいております。



写真：知覧・武家屋敷 西郷亭会場にてインスタライブ発信



写真左上：新茶一煎パックと大好評のドリップ式知覧茶パック

写真右上：新茶イベントプレゼント『新茶とお菓子 BOX』

SNS で日本各地の茶業関係者とつながる機会が増え、コロナ禍で共通の課題を掲げている状況での情報共有ができはじめ、広くは「日本茶」として国内だけでなく世界に展開できる環境が整ってきているように感じています。

最近では、知覧茶生産者の方々も、Instagramなどで積極的に情報発信をされており、私が着任してから短い期間だけみても、更新頻度が増加しファンが増えていることは喜ばしい限りです。

ご協力いただきました関係各所の皆様には、この場をお借りしてお礼申し上げます。

2. 新茶贈呈式 各地で開催 過去最速の新茶シーズンに湧く！

4月下旬から続いている各所への新茶贈呈式が、当月上旬にも実施されました。



写真左：新茶贈呈式@知覧消防署

写真右：地元幼稚園への新茶贈呈式

知覧茶ブランディングを進行する中で、どうしても外にばかり意識しがちですが、地元の方々が通年で知覧茶を飲む環境づくりをすることも、非常に重要な取組だと捉えております。特に、逼迫した環境で働かれている医療関係者などは、知覧茶との親和性が高いように思えます。

3. 外部企業との連携、ブランディングづくりの商談

新茶時期に合わせて当月はメディア露出も多かった印象で、MBC 南日本放送からの取材とウェブ掲載、南九州市在住のご家庭に配布された広報誌の表紙と特集を担当させていただくなど、移住定住や知覧茶 PR 活動などで多方面へのアプローチを実施しております。



写真左:「かごしま暮らし」の特集（記事、動画 前編、後編）

写真右:広報南九州 5 月号表紙

【かごしま暮らし 前編】

<https://kagoshima.life/4870/>

【かごしま暮らし 後編】

<https://kagoshima.life/4898/>

【広報 南九州 5 月号】

<https://www.city.minamikyushu.lg.jp/kouhou/shisejoho/koho/koho/documents/2021minamikyushu05-vol162.pdf>

急激な生活様式の変化に伴い、お茶のあり方や消費シーンも変化しています。

コーヒーやワイン同様、リーフ茶に興味をもつ入り口はそれぞれ異なっているものの、最終的には専門的/本格的な飲み方に着地するプロセスは変わらないので、現状多角的なアプローチ機会を増やしていきます。

以上、簡単ではございますが当月の報告と致します。